

令和元年度大阪府立吹田東高等学校

第1回学校運営協議会

日時：令和元年7月17日（金）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

・委員 浦田 太 吹田市立千里丘中学校 校長
藤浦 雅彦 吹田東高等学校 後援会会長
山崎 彰 武庫川女子大学副学長
城下 英行 関西大学社会安全学部准教授
柏渕 眞理子 東山田青少年対策委員会委員長
古川 益美 吹田東高等学校 P T A会長

校長 佐々木 啓 吹田東高等学校 校長
事務局 井川 紀代子 吹田東高等学校 教頭
芝野 雅人 吹田東高等学校 事務長
村上 明弘 吹田東高等学校 首席
山室 裕 吹田東高等学校 首席

【開会のあいさつ】 「大阪府立吹田東高等学校 校長 佐々木 啓」

【実施要項等の確認】 （資料①参照）

【会長選出】

会長 浦田 太（千里丘中学校校長）
副会長 藤浦 雅彦（吹田東高校後援会会長）

【議 事】

◆報告事項

（1）平成30年度学校経営計画及び学校評価について （資料②参照）

本校佐々木校長より説明

- ・ICTを授業に取り入れ生徒の理解を高める取り組みを行ってきた。
- ・シラバスに対する理解は目標を下回った。
- ・教員の授業見学実施率は100%に近づきたい。
- ・2学期で進路が決まった生徒も3学期崩れることなく学校生活を送った。
- ・ESPに参加した生徒の満足度は高かった。
- ・クリーンキャンペーンをコンパクトな形で実施したが地域との交流は深まった。

委員：授業見学実施率をどのようにカウントしているのか。

校長：見学に行った教員のコメントを提出した数。

委員：見学してもらった教員の数もカウントした方が良いのでは。

委員：大学では工夫されたり、特色ある授業の一覧があり見学しやすくなっている。

委員：確かな学力についてはいろいろ取り組まれて良いと思うが、高い志をもてる学習支援の取り組みについてはもう少し具体的な説明を今後してほしい。

また、社会とのつながりという意味で、18歳から選挙権が認められ高校でどの様に指導していくのかも今後聞かせてほしい。

委員：AOや推薦入試で早く決まった生徒に入学前指導として課題を出している。

吹田東高校では昨年早く進路が決まった生徒に最後まで勉強するためにどのような取り組みをしたのか。

校長：真面目にコツコツ取り組む生徒が多い。また、担任団の指導もあり、まだ受験が終わっていない生徒もいる中でそのような生徒のことを考え最後まで授業をしっかりと聞き、勉強する生徒が多かった。

委員：学校のイメージが、「厳しい」「落ち着いている」「進路に力をいれている」などでそれを望んで入学してくる生徒が多く、その校風がさらに定着して行ってほしい。

青葉丘セミナーの取り組みの成果はどのようなものか。

事務局：アンケートによる生徒の満足度は高い。

(2) 進路状況について (資料③参照)

本校山室首席より説明

- ・今年6月に新大学入試に向けて1、2年生でGTECを実施した。
- また、11月には論理言語力検定を実施する。
- ・昨年、今年と大学の入学定員管理厳格化がある中で、本校生としては健闘している。

委員：スタディーサポートとはどのようなものか。

事務局：基礎学力診断の模擬試験。

委員：個人の弱点が解ったり、また、担任の個人面談の資料としても活用できるもの。

事務局：生活及び学習状況等のアンケートもする。

委員：模試よりも自分を見つめ直すこともできる資料になる。

委員：毎回継続してデータが出てくる。

事務局：多くの高校で採用している。

(3) 新入生アンケート結果について (資料④参照)

本校村上首席より説明

- ・3年前から(43期生)と質問項目を替えている。
- ・全体的にはここ数年ほぼ同じ傾向。
- ・「吹田東高校が第1希望」と答えている生徒は昨年とほぼ同じで6割超えている。
- ・受験する上で重視した理由は「成績」が一番多いが、「校風・雰囲気」と答えている生徒も多い。
- ・どのような学校と聞いていたかというのは昨年同様「厳しい」「まじめ」「落ち着いている」「進学に力を入れている」などが多く、またそのような校風・雰囲気を望んで入学している生徒が多いと思われる。
- ・得意科目では例年と同じで社会が多いが、数学と答えている生徒は昨年に引き続き例年より増えている。
- ・不得意科目は、英語が多い。
- ・希望進路は4年制大学が一番多い。

委員：入学してどの段階でアンケートを取るのか

事務局：入学してすぐ取る。

委員：数学が得意な生徒が増えているのは良い傾向だと思う。

委員：吹田東高校が第1希望ではない生徒がここに来てよかったと思えるような取り組みをしてほしい。

(4) 令和2年度教科書選定について (資料⑤参照)

本校山室首席より説明

- ・観点は例年と同じ。
- ・選定経過については、6月10日に選定委員会を発足し、6月24日に各教科の審議状況を報告、7月1日に最終審議をまとめ、7月8日に最終決定と報告書作成し、現在最終段階にきている。
- ・調査研究機関の構成は、別紙(資料⑤)とおおり。

(5) 平成31年度学校経営計画について (資料⑥参照)

本校佐々木校長より説明

- ・めざす学校像3点を昨年より変えた。
- ・中期的目標「新しい校舎への建て替えの機会を生かし、吹田東高校の組織的な教育活動の確立をめざす」は昨年と同じ。
- ・生徒に疑問を持ち、解決する力をつけてほしい。
- ・アクティブラーニングも含めて授業形態の工夫をする。
- ・漢字検定を廃止し、論理的思考を育てるものとして論理言語力検定を取り入れた。
- ・いろいろな場面で生徒が活躍しているところ見てほしい。
- ・今年度より組織改編に伴い広報部を立ち上げた。
- ・教職員の健康を守ると共に、生徒と向き合う時間を増やす。
- ・校舎移転を含め、個人情報の適正管理を行う。

委員：働き方改革に伴い、新分掌の広報部を作ったのはどのようなことからか。

校長：今まで首席がやっていたものを広報部で行い、校内分掌を6つ作り2人の首席で3つずつ統括するようにした。

委員：中期的目標の中で勉強、学力のことや地域の取り組みについては多く書かれているが、部活動に関しての項目が少ない。バランスを考えると部活動の活性化や学校としての位置付けについて、もう少しあってもいいのではと思った。

校長：学校での位置付けが難しく、教員のボランティアで行っている部分も多いため、負担にならない様にも考えている。

委員：アクティブラーニングやグループワーク等授業形態はいろいろあるが、評価の指標が重要だと思う。小中学校で行われている学力学習状況調査では、生徒にどのような力が付いたか等」の評価指標があり、それを参考にしてみてはどうか。

委員：ICTを導入するが、専門家がいいため、教材作成やトラブルがおこった時にすごく時間がかかってしまうということが昨年も話題に出ていたが、それについて少しずつでも改善されているのか。

校長：あまり改善できていない。一部の教員に頼っている。府の方ではサポートセンターがあり電話対応してくれるが難しい。

(6) 新校舎移転について (資料⑦参照)

本校芝野事務長より説明

- ・8月23日に新校舎竣工記念式典を行う。
- ・8月1日より10日に移転作業を行う。

【諸連絡】

次回 11月頃 (予定)